

平成20年6月6日

各 位

会 社 名 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 川分 陽二  
(コード番号8462 大証ヘラクレス スタンダード)  
問 合 せ 先 専務取締役 大橋 克己  
(Tel 075-257-2511)

## (変更) 平成20年3月期 決算短信の一部変更について

平成20年5月14日に発表いたしました「平成20年3月期 決算短信」において、開示内容の一部を下記のとおり変更いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 変更理由

当社は、平成20年5月21日及び22日におきまして、取引銀行との間で借入金の借入条件について契約変更を行っております。当該契約変更は、平成20年3月期に契約いたしましたコミットメントライン契約を手形による借入に変更することにより、将来資金の確実性を高め、もって当社資金全体の安定化を図ることを目的としております。

つきましては、当該事象が当社の財務情報を開示する上で重要と考えられますので、平成20年5月14日に発表いたしました「平成20年3月期 決算短信」の内容を変更いたします。なお、決算短信本文に変更はございません。

#### 2. 変更箇所

以下、「平成20年3月期 決算短信」

- ①【9頁】3. 経営方針 (4)会社の対処すべき課題
- ②【20頁】4. 連結財務諸表 (6)連結財務諸表に関する注記事項 (連結貸借対照表関係)
- ③【28頁】4. 連結財務諸表 (6)連結財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)
- ④【38頁】5. 個別財務諸表 (6)個別財務諸表に関する注記事項 (貸借対照表関係)
- ⑤【38頁】5. 個別財務諸表 (6)個別財務諸表に関する注記事項 (損益計算書関係)
- ⑥【41頁】5. 個別財務諸表 (6)個別財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)

なお、変更箇所には下線を付して表示しております。

#### 3. 訂正理由

平成20年5月14日に発表いたしました「平成20年3月期 決算短信」について、記載内容の一部誤りがございましたので訂正いたします。なお、決算短信本文に訂正はございません。

#### 4. 訂正箇所

以下、「平成20年3月期 決算短信」

- ①【12頁】4. 連結財務諸表 (1)連結貸借対照表
- ②【15頁】4. 連結財務諸表 (3)連結株主資本等変動計算書
- ③【30頁】5. 個別財務諸表 (1)貸借対照表
- ④【34頁】5. 個別財務諸表 (3)株主資本等変動計算書

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

## 5. 変更内容

### ①【9頁】3. 経営方針 (4)会社の対処すべき課題

(変更前)

当社が対処すべき課題は「投資活動の拡大」と「ファンドリターンの実現」にあると認識し、次の事項について更なる強化をしております。

#### ① 投資活動の拡大について

##### A. 投資事業組合の組成

今後も、当社が優良な企業に投資を行っていくためには、引き続き投資事業組合を組成し投資資金を調達していく必要があります。そのためには、運用成績の向上、既存の出資者との関係強化及び機関投資家や地方自治体等の多様な新規出資者層のニーズにも応えうる組成スキームの開発が重要であると認識しております。

また、昨年に施行された金融商品取引法を踏まえ、ファンド管理体制の整備により一層努めてまいります。

##### B. 投資活動

当社では、投資候補企業情報の入手、投資の実行及び投資先企業の育成を営業推進本部が中心になって行っております。特に当社は大都市圏だけではなく地方都市にも拠点を設置し地域密着型の活動を展開していくことにより、当社独自の質の高い投資候補企業を入手し、投資を行っております。今後も地域密着型の投資を行うために地方展開を進めるとともに、各拠点におけるネットワークを拡充してまいります。

#### ② ファンドリターンの実現について

##### A. キャピタルゲインの実現について

当社が運営するファンドの主なリターンは、投資先未公開企業の株式公開又は大手企業とのM&A等を実現してその株式を売却して得られるキャピタルゲインです。キャピタルゲインを最大化するためには、いかに投資先企業の企業価値を上げるか、そしていかに株式公開を実現し投資資金を回収するか、常にその手法を磨き続けることが肝要です。

そのために、コンサルティング部の設置によるコンサルティングメニューの充実など、既存投資先企業の底上げを図る仕組みの強化を推進しております。また、ハンズオン委員会にて適切な投資先企業の育成支援方針を決定し、E X I T委員会にて適時かつ適切な金額での資金回収を図っております。

##### B. 投資事業組合のポートフォリオ最適化管理

ファンドのリターン最大化とリスク低減のため、ポートフォリオ委員会を設置し、投資事業組合に対して投資先企業の業種・成長ステージなどの組合せの最適化を図っております。

今後も各投資事業組合のリターン最大化を実現するため、適切なポートフォリオ管理をしております。

##### C. 人材育成

ベンチャー企業への投資育成業務において収益の源泉となるのは人です。当社の成長を持続するには、優秀なベンチャーキャピタリストを育成していく必要があります。

今後さらに優秀な人材の確保及び社内教育等による人材育成の充実に努めてまいります。

(変更後)

当社は、前連結会計年度・当連結会計年度と2期連続の当期純損失を計上いたしました。この事実を重く受け止め、安定的な利益を生み出す体制を構築するため、以下の点を対処すべき課題として認識し、対策を進めてまいります。

#### (1) 市場環境の影響を抑えたキャピタルゲインの実現

当社におけるビジネスモデルにおいては、投資先企業が株式上場することによるキャピタルゲインがリターン源泉となります。しかし、新興市場は低迷を続けており、上場審査の厳格化から全体の上場企業数も減少しています。当社におきましても、当連結会計年度中に上場予定であった投資先企業が相次いで上場を延期するという事態となりました。

この市場環境の低迷による影響を抑えるべく、当社といたしましては、M&Aを中心とした上場前段階での株式等の売却も積極的に検討してまいります。日本においてもM&Aに対する認知度が高まり、大企業のM&A意欲は依然として旺盛です。そのような大企業とのネットワークを広め、投資先企業にとっても納得できる形でのM&Aのマッチングを図っていききたいと考えております。

#### (2) 地域ファンドの着実な組成

機関投資家によるベンチャーファンドに対する投資意欲は、日本の株式市場の低迷や昨年のサブプライム問題等があり、依然として冷え込んでおります。一方で、各地方自治体や地方金融機関による地域のベンチャー支援に対するニーズは堅調に存在しております。今後も日本各地において地域のベンチャー企業を支援するファンドの設立は続いていくものと考えております。

当社の特徴の一つに、地域ファンドの運営があります。現在までに地方自治体と連携したファンドは、9地域・11ファンドに上り、各地域より高い評価をいただいております。この豊富な実績を元に、今後も地域ファンドの組成に積極的に取り組んでまいります。

ファンドを設立すると、当社は管理報酬として長期間に亘り安定的に一定の金額を得ることができます。この管理報酬にて当社の活動費用をまかない、当期純利益の改善およびキャッシュフローの安定化を図ります。また、地域ファンドを運用することは、将来におけるキャピタルゲインの元となり、当社の成長に寄与します。

#### (3) コンサルティング業務及びマッチング業務の強化

当社では、投資先企業に行っている育成支援業務で培ったノウハウを生かし、今までも投資先企業以外へのコンサルティングを一部行っておりました。また、当社が持つネットワークを生かし、ベンチャー企業の技術やサービスに興味がある大企業に対しベンチャー企業とのマッチングも行っております。

このコンサルティング業務及びマッチング業務は、市場環境に左右されない収入源です。これら業務を強化し、安定的な売上を確保してまいります。

#### (4) 資金の安定化

当期の損失による短期的な資金繰りへの影響に関しましては、当連結会計年度以降においても投資事業組合からの管理報酬等が確実にあり、さらには金融機関からの融資が継続されるため、支障がないものと考えております。

当社は取引金融機関2行とコミットメントライン契約を締結しており、そのコミット枠は各々5億円と10億円であります。コミット枠5億円のコミットメントライン契約（当連結会計年度末現在の借入実行額1.5億円）につきましては、来期におきまして財務制限条項に抵触することが確実な状況となっておりますが、平成20年5月22日に当該コミットメントライン契約から同額の手形による借入（返済期限平成21年5月22日）に契約変更を行っております。

また、コミット枠10億円のコミットメントライン契約（当連結会計年度末現在の借入実行額10億円）につきましても、平成20年5月21日に当該コミットメントライン契約から、1億円を返済の上、残額を1億円の手形による借入（返済期限平成20年9月30日）と8億円の手形による借入（返済期限平成21年4月30日）に契約変更を行っております。

さらに、当社の業務提携先である藍澤証券株式会社より、平成20年5月19日におきまして金銭消費貸借契約による新規借入50,000千円（返済期限平成21年4月1日）を行っております。

②【20頁】4. 連結財務諸表 (6) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結貸借対照表関係)

(変更前)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度末 (平成19年3月31日)	当連結会計年度末 (平成20年3月31日)																																
<p>※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産並びに担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">担保資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    営業投資有価証券</td> <td style="text-align: right;">119,500千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td>担保付債務</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    長期借入金</td> <td style="text-align: right;">119,500千円</td> </tr> </table> <p>※2 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行とコミットメントライン契約を締結しております。 当連結会計年度末におけるコミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">1,500百万円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">200百万円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">1,300百万円</td> </tr> </table> <p>①平成18年9月29日締結のコミットメントライン契約には、年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額が、直前の年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の60%を下回らないことという財務制限条項が付されております。</p> <p>②平成18年12月26日締結のコミットメントライン契約には、いずれの年度決算期末の非連結貸借対照表（監査済みのもの。以下同じ。）においても、純資産の部の合計金額を、直前の年度決算期末における非連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%未満としないこと、かついずれの年度決算の非連結損益計算書（監査済みのもの。）においても経常損益の額を2期連続して損失としないことという財務制限条項が付されております。</p>	担保資産		営業投資有価証券	119,500千円			担保付債務		長期借入金	119,500千円	コミットメントの総額	1,500百万円	借入実行残高	200百万円	差引額	1,300百万円	<p>※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産並びに担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">担保資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    営業投資有価証券</td> <td style="text-align: right;">79,500千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td>担保付債務</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    長期借入金</td> <td style="text-align: right;">79,500千円</td> </tr> </table> <p>※2 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行とコミットメントライン契約を締結しております。 当連結会計年度末におけるコミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">1,500百万円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">1,150百万円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">350百万円</td> </tr> </table> <p>①平成19年9月29日締結のコミットメントライン契約には、<u>年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額が、直前の年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の60%を下回らないことという財務制限条項が付されております。</u></p> <p>②平成19年12月26日締結のコミットメントライン契約には、<u>いずれの年度決算期末の非連結貸借対照表（監査済みのもの。以下同じ。）においても、純資産の部の合計金額を、平成18年3月期年度決算期末又は直前の年度決算期末における非連結貸借対照表の純資産の部の合計金額のいずれか大きい方の合計金額の75%未満としないこと、かついずれの年度決算の非連結損益計算書（監査済みのもの。）においても、経常損益の額を平成18年3月期年度決算期末以降2期連続して損失としないことという財務制限条項が付されております。</u></p>	担保資産		営業投資有価証券	79,500千円			担保付債務		長期借入金	79,500千円	コミットメントの総額	1,500百万円	借入実行残高	1,150百万円	差引額	350百万円
担保資産																																	
営業投資有価証券	119,500千円																																
担保付債務																																	
長期借入金	119,500千円																																
コミットメントの総額	1,500百万円																																
借入実行残高	200百万円																																
差引額	1,300百万円																																
担保資産																																	
営業投資有価証券	79,500千円																																
担保付債務																																	
長期借入金	79,500千円																																
コミットメントの総額	1,500百万円																																
借入実行残高	1,150百万円																																
差引額	350百万円																																

(変更後)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度末 (平成19年3月31日)	当連結会計年度末 (平成20年3月31日)																												
<p>※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産並びに担保付債務は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>担保資産</td><td></td></tr><tr><td>  営業投資有価証券</td><td>119,500 千円</td></tr><tr><td>担保付債務</td><td></td></tr><tr><td>  長期借入金</td><td>119,500 千円</td></tr></table> <p>※2 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行とコミットメントライン契約を締結しております。</p> <p>当連結会計年度末におけるコミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>コミットメントの総額</td><td>1,500 百万円</td></tr><tr><td>借入実行残高</td><td>200 百万円</td></tr><tr><td>差引額</td><td>1,300 百万円</td></tr></table>	担保資産		営業投資有価証券	119,500 千円	担保付債務		長期借入金	119,500 千円	コミットメントの総額	1,500 百万円	借入実行残高	200 百万円	差引額	1,300 百万円	<p>※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産並びに担保付債務は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>担保資産</td><td></td></tr><tr><td>  営業投資有価証券</td><td>79,500 千円</td></tr><tr><td>担保付債務</td><td></td></tr><tr><td>  長期借入金</td><td>79,500 千円</td></tr></table> <p>※2 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行とコミットメントライン契約を締結しております。</p> <p>当連結会計年度末におけるコミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>コミットメントの総額</td><td>1,500 百万円</td></tr><tr><td>借入実行残高</td><td>1,150 百万円</td></tr><tr><td>差引額</td><td>350 百万円</td></tr></table>	担保資産		営業投資有価証券	79,500 千円	担保付債務		長期借入金	79,500 千円	コミットメントの総額	1,500 百万円	借入実行残高	1,150 百万円	差引額	350 百万円
担保資産																													
営業投資有価証券	119,500 千円																												
担保付債務																													
長期借入金	119,500 千円																												
コミットメントの総額	1,500 百万円																												
借入実行残高	200 百万円																												
差引額	1,300 百万円																												
担保資産																													
営業投資有価証券	79,500 千円																												
担保付債務																													
長期借入金	79,500 千円																												
コミットメントの総額	1,500 百万円																												
借入実行残高	1,150 百万円																												
差引額	350 百万円																												
<p>①平成18年9月29日締結のコミットメントライン契約には、年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額が、直前の年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の60%を下回らないことという財務制限条項が付されております。</p> <p>②平成18年12月26日締結のコミットメントライン契約には、いずれの年度決算期末の非連結貸借対照表(監査済のもの。以下同じ。)においても、純資産の部の合計金額を、直前の年度決算期末における非連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%未満としないこと、かついずれの年度決算の非連結損益計算書(監査済のもの。)においても経常損益の額を2期連続して損失としないことという財務制限条項が付されております。</p>	<p>①平成19年9月29日締結のコミットメントライン契約には、<u>年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額が、直前の年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の60%を下回らないことという財務制限条項が付されております。</u> なお、当該コミットメントライン契約(当連結会計年度末現在の借入実行額10億円)につきましては、平成20年5月21日に当該コミットメントライン契約から、1億円を返済の上、残額を1億円の手形による借入(返済期限平成20年9月30日)と8億円の手形による借入(返済期限平成21年4月30日)に契約変更を行っております。</p> <p>②平成19年12月26日締結のコミットメントライン契約には、<u>いずれの年度決算期末の非連結貸借対照表(監査済みのもの。以下同じ。)においても、純資産の部の合計金額を、平成18年3月期年度決算期末又は直前の年度決算期末における非連結貸借対照表の純資産の部の合計金額のいずれか大きい方の合計金額の75%未満としないこと、かついずれの年度決算の非連結損益計算書(監査済みのもの。)においても、経常損益の額を平成18年3月期年度決算期末以降2期連続して損失としないことという財務制限条項が付されております。</u> なお、当該コミットメントライン契約(当連結会計年度末現在の借入実行額1.5億円)につきましては、来期におきまして財務制限条項に抵触することが確実な状況となっておりますが、平成20年5月22日に当該コミットメントライン契約から同額の手形による借入(返済期限平成21年5月22日)に契約変更を行っております。</p>																												

③【28頁】4. 連結財務諸表 (6)連結財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)

(変更前)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(変更後)

(重要な後発事象)

(短期借入金の借入条件の変更及び新規借入について)

当社は取引金融機関2行とコミットメントライン契約を締結しており、そのコミット枠は各々5億円と10億円であります。

株式会社三菱東京UFJ銀行とのコミット枠5億円のコミットメントライン契約(当連結会計年度末現在の借入実行額1.5億円)につきましては、来期におきまして財務制限条項に抵触することが確実な状況となっておりますが、平成20年5月22日に当該コミットメントライン契約から同額の手形による借入に契約変更を行っております。

また、株式会社関西アーバン銀行とのコミット枠10億円のコミットメントライン契約(当連結会計年度末現在の借入実行額10億円)につきましても、平成20年5月21日に当該コミットメントライン契約から、1億円を返済の上、手形による借入に契約変更を行っております。詳細につきましては、次のとおりであります。

目的	返済期限延長による短期資金の安定化		
	株式会社 三菱東京UFJ銀行	株式会社関西アーバン銀行	
借入先の名称			
借入金額	1.5億円	1億円	8億円
変更後の金利	1.875%	2.375%	
変更後の返済期限	平成21年5月22日	平成20年9月30日	平成21年4月30日
変更による 利息の増減額	2,509千円減	6,984千円減	
その他重要な特約等	該当なし	該当なし	

さらに、当社の業務提携先である藍澤證券株式会社より、平成20年5月19日におきまして金銭消費貸借契約による新規借入50,000千円(返済期限平成21年4月1日)を行っております。詳細につきましては、次のとおりであります。

資金使途	運転資金
利率	3.000%
返済条件	期日一括返済
担保提供資産	営業投資有価証券
その他重要な特約等	該当なし

④【38頁】 5. 個別財務諸表 (6)個別財務諸表に関する注記事項 (貸借対照表関係)

(変更前)

(貸借対照表関係)

前事業年度末 (平成 19 年 3 月 31 日)	当事業年度末 (平成 20 年 3 月 31 日)																																		
<p>※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産並びに担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">担保資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">営業投資有価証券</td> <td style="text-align: right;">119,500千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">担保付債務</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">長期借入金</td> <td style="text-align: right;">119,500千円</td> </tr> </table> <p>※2 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行とコミットメントライン契約を締結しております。 当事業年度末におけるコミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">1,500百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">200百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">差引額</td> <td style="text-align: right;">1,300百万円</td> </tr> </table> <p>①平成18年9月29日締結のコミットメントライン契約には、年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額が、直前の年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の60%を下回らないことという財務制限条項が付されております。</p> <p>②平成18年12月26日締結のコミットメントライン契約には、いずれの年度決算期末の非連結貸借対照表(監査済のもの。以下同じ。)においても、純資産の部の合計金額を、直前の年度決算期末における非連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%未満としないこと、かついずれの年度決算の非連結損益計算書(監査済のもの。)においても経常損益の額を2期連続して損失としないことという財務制限条項が付されております。</p> <p>※3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">前受金</td> <td style="text-align: right;">160,957千円</td> </tr> </table> <p>(記載なし)</p>	担保資産		営業投資有価証券	119,500千円	担保付債務		長期借入金	119,500千円	コミットメントの総額	1,500百万円	借入実行残高	200百万円	差引額	1,300百万円	前受金	160,957千円	<p>※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産並びに担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">担保資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">営業投資有価証券</td> <td style="text-align: right;">79,500千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">担保付債務</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">長期借入金</td> <td style="text-align: right;">79,500千円</td> </tr> </table> <p>※2 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行とコミットメントライン契約を締結しております。 当事業年度末におけるコミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">1,500百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">1,150百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">差引額</td> <td style="text-align: right;">350百万円</td> </tr> </table> <p>①平成19年9月29日締結のコミットメントライン契約には、<u>年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額が、直前の年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の60%を下回らないことという財務制限条項が付されております。</u></p> <p>②平成19年12月26日締結のコミットメントライン契約には、<u>いずれの年度決算期末の非連結貸借対照表(監査済みのもの。以下同じ。)においても、純資産の部の合計金額を、平成18年3月期年度決算期末又は直前の年度決算期末における非連結貸借対照表の純資産の部の合計金額のいずれか大きい方の合計金額の75%未満としないこと、かついずれの年度決算の非連結損益計算書(監査済みのもの。)においても、経常損益の額を平成18年3月期年度決算期末以降2期連続して損失としないことという財務制限条項が付されております。</u></p> <p>※3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">前受金</td> <td style="text-align: right;">159,950千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">預け金</td> <td style="text-align: right;">303,584千円</td> </tr> </table> <p>(記載なし)</p>	担保資産		営業投資有価証券	79,500千円	担保付債務		長期借入金	79,500千円	コミットメントの総額	1,500百万円	借入実行残高	1,150百万円	差引額	350百万円	前受金	159,950千円	預け金	303,584千円
担保資産																																			
営業投資有価証券	119,500千円																																		
担保付債務																																			
長期借入金	119,500千円																																		
コミットメントの総額	1,500百万円																																		
借入実行残高	200百万円																																		
差引額	1,300百万円																																		
前受金	160,957千円																																		
担保資産																																			
営業投資有価証券	79,500千円																																		
担保付債務																																			
長期借入金	79,500千円																																		
コミットメントの総額	1,500百万円																																		
借入実行残高	1,150百万円																																		
差引額	350百万円																																		
前受金	159,950千円																																		
預け金	303,584千円																																		

(変更後)

(貸借対照表関係)

前事業年度末 (平成 19 年 3 月 31 日)	当事業年度末 (平成 20 年 3 月 31 日)																																		
<p>※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産並びに担保付債務は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>担保資産</td><td></td></tr><tr><td>  営業投資有価証券</td><td>119,500千円</td></tr><tr><td>担保付債務</td><td></td></tr><tr><td>  長期借入金</td><td>119,500千円</td></tr></table> <p>※2 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行とコミットメントライン契約を締結しております。 当事業年度末におけるコミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>コミットメントの総額</td><td>1,500百万円</td></tr><tr><td>借入実行残高</td><td>200百万円</td></tr><tr><td>差引額</td><td>1,300百万円</td></tr></table> <p>①平成18年9月29日締結のコミットメントライン契約には、年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額が、直前の年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の60%を下回らないことという財務制限条項が付されております。</p> <p>②平成18年12月26日締結のコミットメントライン契約には、いずれの年度決算期末の非連結貸借対照表（監査済のもの。以下同じ。）においても、純資産の部の合計金額を、直前の年度決算期末における非連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%未満としないこと、かついずれの年度決算の非連結損益計算書（監査済のもの。）においても経常損益の額を2期連続して損失としないことという財務制限条項が付されております。</p> <p>※3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>前受金</td><td>160,957千円</td></tr></table>	担保資産		営業投資有価証券	119,500千円	担保付債務		長期借入金	119,500千円	コミットメントの総額	1,500百万円	借入実行残高	200百万円	差引額	1,300百万円	前受金	160,957千円	<p>※1 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産並びに担保付債務は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>担保資産</td><td></td></tr><tr><td>  営業投資有価証券</td><td>79,500千円</td></tr><tr><td>担保付債務</td><td></td></tr><tr><td>  長期借入金</td><td>79,500千円</td></tr></table> <p>※2 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行とコミットメントライン契約を締結しております。 当事業年度末におけるコミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>コミットメントの総額</td><td>1,500百万円</td></tr><tr><td>借入実行残高</td><td>1,150百万円</td></tr><tr><td>差引額</td><td>350百万円</td></tr></table> <p>①平成19年9月29日締結のコミットメントライン契約には、<u>年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額が、直前の年度決算期末における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の60%を下回らないことという財務制限条項が付されております。</u></p> <p>なお、当該コミットメントライン契約（当連結会計年度末現在の借入実行額10億円）につきましては、平成20年5月21日に当該コミットメントライン契約から、1億円を返済の上、残額を1億円の手形による借入（返済期限平成20年9月30日）と8億円の手形による借入（返済期限平成21年4月30日）に契約変更を行っております。</p> <p>②平成19年12月26日締結のコミットメントライン契約には、<u>いずれの年度決算期末の非連結貸借対照表（監査済みのもの。以下同じ。）においても、純資産の部の合計金額を、平成18年3月期年度決算期末又は直前の年度決算期末における非連結貸借対照表の純資産の部の合計金額のいずれか大きい方の合計金額の75%未満としないこと、かついずれの年度決算の非連結損益計算書（監査済みのもの。）においても、経常損益の額を平成18年3月期年度決算期末以降2期連続して損失としないことという財務制限条項が付されております。</u></p> <p>なお、当該コミットメントライン契約（当連結会計年度末現在の借入実行額1.5億円）につきましては、来期におきまして財務制限条項に抵触することが確実な状況となっておりますが、平成20年5月22日に当該コミットメントライン契約から同額の手形による借入（返済期限平成21年5月22日）に契約変更を行っております。</p> <p>※3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <table border="0"><tr><td>前受金</td><td>159,950千円</td></tr><tr><td>預け金</td><td>303,554千円</td></tr></table>	担保資産		営業投資有価証券	79,500千円	担保付債務		長期借入金	79,500千円	コミットメントの総額	1,500百万円	借入実行残高	1,150百万円	差引額	350百万円	前受金	159,950千円	預け金	303,554千円
担保資産																																			
営業投資有価証券	119,500千円																																		
担保付債務																																			
長期借入金	119,500千円																																		
コミットメントの総額	1,500百万円																																		
借入実行残高	200百万円																																		
差引額	1,300百万円																																		
前受金	160,957千円																																		
担保資産																																			
営業投資有価証券	79,500千円																																		
担保付債務																																			
長期借入金	79,500千円																																		
コミットメントの総額	1,500百万円																																		
借入実行残高	1,150百万円																																		
差引額	350百万円																																		
前受金	159,950千円																																		
預け金	303,554千円																																		

※4 ー

※4 追加情報

「(4)重要な会計方針 ⑥その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 <投資事業組合への出資金に係る会計処理>」に記載しておりますように、当社の貸借対照表に計上されている金額は、投資事業組合の貸借対照表に計上されている金額のうち当社の出資持分に相当する金額を取り込んで計上しております。貸借対照表に記載されております主な科目のうち、投資事業組合で発生している額は次のとおりであります。

現金及び預金 545,923 千円

(注：当社単体で保有している現金及び預金は、564,386 千円であります。)

営業投資有価証券 2,634,178 千円

投資損失引当金 528,528 千円

⑤【38頁】5. 個別財務諸表 (6)個別財務諸表に関する注記事項 (損益計算書関係)

(変更前)

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成18年4月1日 ) (至 平成19年3月31日 )	当事業年度 (自 平成19年4月1日 ) (至 平成20年3月31日 )
<p>※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <p style="padding-left: 40px;">投資事業組合等管理収入                      627,193千円</p>	<p>※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <p style="padding-left: 40px;">投資事業組合等管理収入                      682,364千円</p>
<p>※2 固定資産除却損の内訳</p> <p style="padding-left: 40px;">工具器具及び備品                                      118千円</p> <p><u>(記載なし)</u></p>	<p>※2 —</p> <p><u>(記載なし)</u></p>

(変更後)

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)																																											
<p>※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。 投資事業組合等管理収入 627,193千円</p> <p>※2 固定資産除却損の内訳 工具器具及び備品 118千円</p> <p>※3 —</p>	<p>※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。 投資事業組合等管理収入 682,364千円</p> <p>※2 —</p> <p>※3 追加情報 「(4)重要な会計方針 ⑥その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 &lt;投資事業組合への出資金に係る会計処理&gt;」に記載しておりますように、当社の損益計算書に計上されている金額は、投資事業組合の損益計算書に計上されている金額のうち当社の出資持分に相当する金額を取り込んで計上しております。投資事業組合で発生している損益と当社単体で発生している損益により、当事業年度の営業損失を分解いたしますと次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">損益計算書上の科目</th> <th style="text-align: center;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">当社単体で発生している 損益</td> <td>投資事業組合等管理収入</td> <td style="text-align: right;">682,364千円</td> </tr> <tr> <td>コンサルティング収入</td> <td style="text-align: right;">77,060千円</td> </tr> <tr> <td>その他売上高</td> <td style="text-align: right;">13,579千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">売上高合計</td> <td style="text-align: right;">773,003千円</td> </tr> <tr> <td>資金原価</td> <td style="text-align: right;">1,452千円</td> </tr> <tr> <td>その他売上原価</td> <td style="text-align: right;">559,092千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">売上原価合計</td> <td style="text-align: right;">560,544千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">売上総利益</td> <td style="text-align: right;">212,459千円</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td style="text-align: right;">332,638千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">営業損失</td> <td style="text-align: right;">120,178千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center; vertical-align: middle;">投資事業組合で発生している 損益</td> <td>営業投資有価証券売上高</td> <td style="text-align: right;">33,279千円</td> </tr> <tr> <td>その他売上高</td> <td style="text-align: right;">882千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">売上高合計</td> <td style="text-align: right;">34,161千円</td> </tr> <tr> <td>営業投資有価証券売上原価</td> <td style="text-align: right;">64,194千円</td> </tr> <tr> <td>投資損失引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">384,013千円</td> </tr> <tr> <td>その他売上原価</td> <td style="text-align: right;">202,700千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">売上原価合計</td> <td style="text-align: right;">650,908千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">売上総損失</td> <td style="text-align: right;">616,746千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">営業損失</td> <td style="text-align: right;">616,746千円</td> </tr> </tbody> </table>		損益計算書上の科目	金額	当社単体で発生している 損益	投資事業組合等管理収入	682,364千円	コンサルティング収入	77,060千円	その他売上高	13,579千円	売上高合計	773,003千円	資金原価	1,452千円	その他売上原価	559,092千円	売上原価合計	560,544千円	売上総利益	212,459千円	販売費及び一般管理費	332,638千円	営業損失	120,178千円	投資事業組合で発生している 損益	営業投資有価証券売上高	33,279千円	その他売上高	882千円	売上高合計	34,161千円	営業投資有価証券売上原価	64,194千円	投資損失引当金繰入額	384,013千円	その他売上原価	202,700千円	売上原価合計	650,908千円	売上総損失	616,746千円	営業損失	616,746千円
	損益計算書上の科目	金額																																										
当社単体で発生している 損益	投資事業組合等管理収入	682,364千円																																										
	コンサルティング収入	77,060千円																																										
	その他売上高	13,579千円																																										
	売上高合計	773,003千円																																										
	資金原価	1,452千円																																										
	その他売上原価	559,092千円																																										
	売上原価合計	560,544千円																																										
	売上総利益	212,459千円																																										
	販売費及び一般管理費	332,638千円																																										
	営業損失	120,178千円																																										
投資事業組合で発生している 損益	営業投資有価証券売上高	33,279千円																																										
	その他売上高	882千円																																										
	売上高合計	34,161千円																																										
	営業投資有価証券売上原価	64,194千円																																										
	投資損失引当金繰入額	384,013千円																																										
	その他売上原価	202,700千円																																										
	売上原価合計	650,908千円																																										
	売上総損失	616,746千円																																										
営業損失	616,746千円																																											

⑥【41頁】5. 個別財務諸表 (6) 個別財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)

(変更前)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(変更後)

(重要な後発事象)

(短期借入金の借入条件の変更及び新規借入について)

当社は取引金融機関2行とコミットメントライン契約を締結しており、そのコミット枠は各々5億円と10億円であります。

株式会社三菱東京UFJ銀行とのコミット枠5億円のコミットメントライン契約(当事業年度末現在の借入実行額1.5億円)につきましては、来期におきまして財務制限条項に抵触することが確実な状況となっておりますが、平成20年5月22日に当該コミットメントライン契約から同額の手形による借入に契約変更を行っております。

また、株式会社関西アーバン銀行とのコミット枠10億円のコミットメントライン契約(当事業年度末現在の借入実行額10億円)につきましても、平成20年5月21日に当該コミットメントライン契約から、1億円を返済の上、手形による借入に契約変更を行っております。詳細につきましては、次のとおりであります。

目的	返済期限延長による短期資金の安定化		
借入先の名称	株式会社 三菱東京UFJ銀行	株式会社関西アーバン銀行	
借入金額	1.5億円	1億円	8億円
変更後の金利	1.875%	2.375%	
変更後の返済期限	平成21年5月22日	平成20年9月30日	平成21年4月30日
変更による 利息の増減額	2,509千円減	6,984千円減	
その他重要な特約等	該当なし	該当なし	

さらに、当社の業務提携先である藍澤証券株式会社より、平成20年5月19日におきまして金銭消費貸借契約による新規借入50,000千円(返済期限平成21年4月1日)を行っております。詳細につきましては、次のとおりであります。

資金使途	運転資金
利率	3.000%
返済条件	期日一括返済
担保提供資産	営業投資有価証券
その他重要な特約等	該当なし

## 6. 訂正内容

## ①【12頁】4. 連結財務諸表 (1)連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

区 分	注記 番号	前連結会計年度末 (平成19年3月31日)		当連結会計年度末 (平成20年3月31日)		増 減
		金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額
(負債の部)						
I 流動負債						
1 短期借入金	※2	483,000		1,565,000		1,082,000
2 1年以内返済予定の長期借入金		196,560		231,460		34,900
3 預り金		322,772		624,835		302,063
4 繰延税金負債		28,419		17,480		△10,939
5 賞与引当金		45,487		27,853		△17,634
6 その他		84,534		65,706		△18,828
流動負債合計		1,160,773	5.8	2,532,334	12.5	1,371,561
II 固定負債						
1 長期借入金	※1	394,480		107,470		△287,010
2 長期リース債務		49,153		36,894		△12,258
3 退職給付引当金		25,850		33,343		7,493
固定負債合計		469,484	2.3	177,708	0.9	△291,775
負債合計		1,630,258	8.1	2,710,043	13.4	1,079,785
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金		1,887,167	9.4	1,887,211	9.3	43
2 資本剰余金		601,618	3.0	601,661	3.0	43
3 利益剰余金		△86,135	△0.4	△762,606	△3.8	△676,471
4 自己株式		△2,293	△0.0	△2,293	△0.0	—
株主資本合計		2,400,357	12.0	1,723,972	8.5	△676,384
II 評価・換算差額等						
1 その他有価証券評価差額金		△1,278	△0.0	3,644	0.0	4,923
評価・換算差額等合計		△1,278	△0.0	3,644	0.0	4,923
III 少数株主持分		15,992,194	79.9	15,792,618	78.1	△199,575
純資産合計		18,391,272	91.9	17,520,235	86.6	△871,036
負債純資産合計		20,021,530	100.0	20,230,278	100.0	208,748

(訂正後)

(単位：千円)

区 分	注記 番号	前連結会計年度末 (平成19年3月31日)		当連結会計年度末 (平成20年3月31日)		増 減
		金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額
(負債の部)						
I 流動負債						
1 短期借入金	※2	483,000		1,565,000		1,082,000
2 1年以内返済予定の長期借入金		196,560		231,460		34,900
3 預り金		322,772		624,835		302,063
4 繰延税金負債		28,419		17,480		△10,939
5 賞与引当金		45,487		27,853		△17,634
6 その他		84,534		<u>65,705</u>		△18,828
流動負債合計		1,160,773	5.8	2,532,334	12.5	<u>1,371,560</u>
II 固定負債						
1 長期借入金	※1	394,480		107,470		△287,010
2 長期リース債務		49,153		36,894		△12,258
3 退職給付引当金		25,850		33,343		7,493
固定負債合計		469,484	2.3	177,708	0.9	△291,775
負債合計		1,630,258	8.1	2,710,043	13.4	1,079,785
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金		1,887,167	9.4	1,887,211	9.3	43
2 資本剰余金		601,618	3.0	601,661	3.0	43
3 利益剰余金		△86,135	△0.4	<u>△762,727</u>	△3.8	<u>△676,592</u>
4 自己株式		△2,293	△0.0	<u>△2,172</u>	△0.0	<u>121</u>
株主資本合計		2,400,357	12.0	1,723,972	8.5	△676,384
II 評価・換算差額等						
1 その他有価証券評価差額金		△1,278	△0.0	3,644	0.0	4,923
評価・換算差額等合計		△1,278	△0.0	3,644	0.0	4,923
III 少数株主持分		15,992,194	79.9	15,792,618	78.1	△199,575
純資産合計		18,391,272	91.9	17,520,235	86.6	△871,036
負債純資産合計		20,021,530	100.0	20,230,278	100.0	208,748

②【15頁】4. 連結財務諸表 (3)連結株主資本等変動計算書

(訂正前)

当連結会計年度(自平成19年4月1日至平成20年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	1,887,167	601,618	△86,135	△2,293	2,400,357
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	43	43			86
当期純損失			△676,471		△676,471
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計	43	43	△676,471	—	△676,384
平成20年3月31日残高	1,887,211	601,661	△762,606	△2,293	1,723,972

(単位:千円)

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	△1,278	△1,278	15,992,194	18,391,272
連結会計年度中の変動額				
新株の発行				86
当期純損失				△676,471
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)	4,923	4,923	△199,575	△194,651
連結会計年度中の変動額合計	4,923	4,923	△199,575	△871,036
平成20年3月31日残高	3,644	3,644	15,792,618	17,520,235

(訂正後)

当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 19 年 3 月 31 日残高	1,887,167	601,618	△86,135	△2,293	2,400,357
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	43	43			86
当期純損失			△676,471		△676,471
自己株式の消却			△121	121	＝
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計	43	43	△676,592	121	△676,384
平成 20 年 3 月 31 日残高	1,887,211	601,661	△762,727	△2,172	1,723,972

(単位：千円)

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成 19 年 3 月 31 日残高	△1,278	△1,278	15,992,194	18,391,272
連結会計年度中の変動額				
新株の発行				86
当期純損失				△676,471
自己株式の消却				＝
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)	4,923	4,923	△199,575	△194,651
連結会計年度中の変動額合計	4,923	4,923	△199,575	△871,036
平成 20 年 3 月 31 日残高	3,644	3,644	15,792,618	17,520,235

③【30頁】5. 個別財務諸表 (1)貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

区 分	注記 番号	前事業年度末 (平成19年3月31日)		当事業年度末 (平成20年3月31日)		増 減
		金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額
(負債の部)						
I 流動負債						
1 短期借入金	※2	483,000		1,565,000		1,082,000
2 1年以内返済予定の長期借入金		196,560		231,460		34,900
3 未払金		42,689		13,169		△29,520
4 未払費用		10,027		11,272		1,245
5 未払法人税等		13,579		15,388		1,808
6 未払消費税等		3,654		4,795		1,141
7 前受金	※3	169,888		167,825		△2,063
8 預り金		21,534		171,582		150,048
9 短期リース債務		13,199		12,917		△282
10 繰延税金負債		5,256		3,077		△2,178
11 賞与引当金		45,487		27,853		△17,634
流動負債合計		1,004,877	25.6	2,224,342	54.9	1,219,464
II 固定負債						
1 長期借入金	※1	394,480		107,470		△287,010
2 長期リース債務		49,153		36,894		△12,258
3 退職給付引当金		25,850		33,343		7,493
固定負債合計		469,484	12.0	177,708	4.4	△291,775
負債合計		1,474,361	37.6	2,402,051	59.3	927,689
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金		1,887,167	48.1	1,887,211	46.6	43
2 資本剰余金						
(1) 資本準備金		601,618		601,661		
資本剰余金合計		601,618	15.3	601,661	14.9	43
3 利益剰余金						
(1) その他利益剰余金						
繰越利益剰余金		△42,640		△842,912		
利益剰余金合計		△42,640	△1.1	△842,912	△20.8	△800,272
4 自己株式		△2,293	△0.0	△2,293	△0.1	—
株主資本合計		2,443,851	62.3	1,643,665	40.6	△800,186
II 評価・換算差額等						
1 その他有価証券評価差額金		5,051	0.1	3,645	0.1	△1,406
評価・換算差額等合計		5,051	0.1	3,645	0.1	△1,406
純資産合計		2,448,903	62.4	1,647,311	40.7	△801,592
負債純資産合計		3,923,265	100.0	4,049,362	100.0	126,097

(訂正後)

(単位：千円)

区 分	注記 番号	前事業年度末 (平成19年3月31日)		当事業年度末 (平成20年3月31日)		増 減
		金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額
(負債の部)						
I 流動負債						
1 短期借入金	※2	483,000		1,565,000		1,082,000
2 1年以内返済予定の長期借入金		196,560		231,460		34,900
3 未払金		42,689		13,169		△29,520
4 未払費用		10,027		11,272		1,245
5 未払法人税等		13,579		15,388		1,808
6 未払消費税等		3,654		4,795		1,141
7 前受金	※3	169,888		167,825		△2,063
8 預り金		21,534		171,582		150,048
9 短期リース債務		13,199		12,917		△282
10 繰延税金負債		5,256		3,077		△2,178
11 賞与引当金		45,487		27,853		△17,634
流動負債合計		1,004,877	25.6	2,224,342	54.9	1,219,464
II 固定負債						
1 長期借入金	※1	394,480		107,470		△287,010
2 長期リース債務		49,153		36,894		△12,258
3 退職給付引当金		25,850		33,343		7,493
固定負債合計		469,484	12.0	177,708	4.4	△291,775
負債合計		1,474,361	37.6	2,402,051	59.3	927,689
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金		1,887,167	48.1	1,887,211	46.6	43
2 資本剰余金						
(1) 資本準備金		601,618		601,661		
資本剰余金合計		601,618	15.3	601,661	14.9	43
3 利益剰余金						
(1) その他利益剰余金						
繰越利益剰余金		△42,640		△843,033		
利益剰余金合計		△42,640	△1.1	△843,033	△20.8	△800,393
4 自己株式		△2,293	△0.0	△2,172	△0.1	121
株主資本合計		2,443,851	62.3	1,643,666	40.6	△800,185
II 評価・換算差額等						
1 その他有価証券評価差額金		5,051	0.1	3,645	0.1	△1,406
評価・換算差額等合計		5,051	0.1	3,645	0.1	△1,406
純資産合計		2,448,903	62.4	1,647,311	40.7	△801,592
負債純資産合計		3,923,265	100.0	4,049,362	100.0	126,097

④【34頁】5. 個別財務諸表 (3)株主資本等変動計算書

(訂正前)

当事業年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成19年3月31日残高	1,887,167	601,618	601,618	△42,640	△42,640	△2,293	2,443,851
事業年度中の変動額							
新株の発行	43	43	43				86
当期純損失				△800,272	△800,272		△800,272
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)							
事業年度中の変動額 合計	43	43	43	△800,272	△800,272	—	△800,186
平成20年3月31日残高	1,887,211	601,661	601,661	△842,912	△842,912	△2,293	1,643,665

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	5,051	5,051	2,448,903
事業年度中の変動額			
新株の発行			86
当期純損失			△800,272
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)	△1,406	△1,406	△1,406
事業年度中の変動額 合計	△1,406	△1,406	△801,592
平成20年3月31日残高	3,645	3,645	1,647,311

(訂正後)

当事業年度（自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益剰余金  繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
平成 19 年 3 月 31 日残高	1,887,167	601,618	601,618	△42,640	△42,640	△2,293	2,443,851
事業年度中の変動額							
新株の発行	43	43	43				86
当期純損失				△800,272	△800,272		△800,272
<u>自己株式の消却</u>				<u>△121</u>	<u>△121</u>	<u>121</u>	<u>＝</u>
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)							
事業年度中の変動額 合計	43	43	43	<u>△800,393</u>	<u>△800,393</u>	<u>121</u>	<u>△800,185</u>
平成 20 年 3 月 31 日残高	1,887,211	601,661	601,661	<u>△843,033</u>	<u>△843,033</u>	<u>△2,172</u>	<u>1,643,666</u>

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成 19 年 3 月 31 日残高	5,051	5,051	2,448,903
事業年度中の変動額			
新株の発行			86
当期純損失			△800,272
<u>自己株式の消却</u>			<u>＝</u>
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)	△1,406	△1,406	△1,406
事業年度中の変動額 合計	△1,406	△1,406	△801,592
平成 20 年 3 月 31 日残高	3,645	3,645	1,647,311

以上